

自分の感性で、できあがるモノは無限大。 始めてみてわかった手芸の楽しさとは？

料理と同じく、女性なら身につけておきたい裁縫やミシン。
とはいえ、普段なかなか触れる機会がなく、苦手意識を持っている人も多いのでは？
そこで、手芸の奥深さに魅せられ、自分のお店をオープンさせるに至った
小塚さんに、その楽しさや魅力を伺いました。



自己流で始めた手芸に魅了され、 ついには自分のショップをオープン。

—— 小塚さんが手芸を始めたきっかけは？
やってみたくてという憧れはあったんですけど、実は手芸やミシンは苦手でタイプだったんです。でもある時、私が好きなキャラクターの刺繍ができるミシンの存在を知り、どうしても使ってみたくて。完全に独学の自己流で始めたんですけど、その楽しさにすっかり魅了されてしまったんです。

—— 自分のお店を持つのはいつ頃から構想していたんですか？
7年ほど前に雑貨や服を作り始めて結婚後は名古屋市内の雑貨屋さんで委託販売をさせてもらっていたんですけど、当時はそれで十分だったんですけど、3年ほど前から今のようになスタイルのお店をやりたいと思うようになり、念願叶って昨年12月にオープンさせました。

1枚の布から無限に広がる可能性。 それが、手芸をやめられない理由。

—— 長年続けていても変わらない手芸の魅力や楽しさは、どんなところですか？
たった1枚の布から、いろんなモノができあがっていくところですね。色使いでまったく雰囲気が違うアイテムができるから、ひとつ作るごとにアイデアが湧いてきて、やめられなくなるんです(笑)。例えば柔らかい生地があったとして、ギャザーをたっぷり寄せればふんわり優しいフォルムになるし、ハードな質感の異素材と組み合わせれば、個性的な表情が生まれる。自分の感性やひらめき次第で、できあがるものは無限なんですよ。

PROFILE

小塚 幸子さん

ウエアやバッグ、アクセサリーの作家として7年前から活動を始め、独自のブランド「baiser de nuage」を展開。6年間にわたる雑貨店での委託販売を経て、2009年12月、栄生駅前に「RUBAN」をオープン。



小塚さんが作るウエアは、ナチュラルすぎず、大人可愛いテイストが絶妙。チュニック1万2800円、シャツブラウス9800円。



合革の持ち手が付いたデジカメケースと、錠モチーフのペンダントは各1575円。コーヒーマグのレースがクラシカルな印象。



ギャザーをたっぷり寄せた柔らかなフォルムのバッグも、シックな色味なので甘すぎない仕上がりに。左6800円、右5800円。

—— 手先が不器用で、手芸やミシンに苦手意識を持っている女性も多いと思いますが、誰でもチャレンジできますか？
直線縫いだけで作れるコースターや巾着なら、誰でも簡単に作れますよ。ミシンに慣れてきたら、カーブをつけてみたり、ギャザーを寄せたりと、少しずつステップアップできます。最近、アイシン精機から発売された「SP10」というミシンをお店に置き始めたんです。インテリアとしてもお店の雰囲気にマッチしたし、シンプルな機能が気に入って、4月からミシンのスクールを始める予定なので、初心者の方も気軽に訪ねてきてください。

EVENT

小塚さんの
レシピが体験できる

「笑顔のたまご」×月刊KELLYの ソーイング無料体験イベントを開催!

「笑顔のたまご」は、手づくりのヒントや手芸のレシピを満載したコミュニケーションサイト。今回、月刊KELLYとコラボレーションし、ソーイング無料体験イベントを実施します。「RUBAN」の小塚幸子さんをゲストに迎え、手芸やミシンの楽しみ方を伝授。今までなじみがなかった人も、手芸の楽しさに目覚めるチャンス!

- 日にち 3/6(土)、7(日)の2日間
- 場所 ラシック1F ラシックパサージュ 名古屋市中区栄3-6-1
- ゲスト 小塚幸子さん(RUBAN)

詳しくは、www.egatama.jp



RUBAN

リュバン

☎052-581-4948
名古屋市中区則武新町4-3-20 久田ビル1F
10:30~17:30 日曜、祝日定休 @2台

「身につけると心が和むアイテム」をテーマに、ウエアや雑貨、アクセサリーを所狭しとディスプレイ。小塚さんを含む約20人の作家作品やセレクトアイテムは、いずれも素材や着心地を重視したナチュラルなテイスト。

